

○中部国際空港については、利便性の向上や需要開拓に積極的に取り組み、持続的な成長や空港機能強化のための施策を推進する。

今後の成長を取り込む新ターミナル等の整備(中部国際空港株)

駐機場の増設・改修

新ターミナルの建設(※)

駐機場整備(※)

今後のLCCをはじめとする航空会社の動向等を注視して、新ターミナルの機能や規模、スケジュール、コンセプト等を見極めつつ、進めていくこととしている。

(※)航空会社の動向等を見極め検討。

飛行検査機拠点の整備(国土交通省 航空局)

- * 首都圏空港の更なる容量拡大の取組の一環として、「飛行検査機拠点の羽田空港からの移転」を決定。
- * 24時間発着が可能であり、首都圏空港の検査を日帰りで行える中部国際空港を選定。



- 全体計画 —
- 主要施設：庁舎・格納庫
 - 総事業費：30.6億円
 - 事業期間：平成23～26年度

地域一体となった需要開拓と路線ネットワークの拡充

「昇龍道プロジェクト」の一層の推進(昇龍道プロジェクト推進協議会)



【昇龍道プロジェクトの概要】
中部北陸9県の自治体、観光関係団体等が協働し、中部北陸圏の知名度向上を図り、主に中華圏からのインバウンドを推進。



- 【中部国際空港での受入環境整備】
- ・「Tourist Information&Service」(旧称:昇龍道 観光情報館)の開設
 - ・「龍」のPR装飾の設置
 - ・セントレアリムジンの運行 等



利便性の高い貨物ネットワークの再構築

国際貨物便の拠点化促進に向けた着陸料割引制度の拡充
(中部国際空港株)

拠点化促進割引(継続)

最大3年間 80%割引

新規増量割引(継続)

増加重量分 80%割引



平成25年4月から中部国際空港とシンシナティ(米)、上海等を結ぶ路線を開設したポーラエアカーゴ

シー&エアによる航空機関連部品の輸送拠点機能の強化 (アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区に係る取組み)

■海上輸送

三菱重工、川崎重工、富士重工

各工場から船で部品を海上輸送

centrair 中部国際空港



■空港内における輸送・保管・積込(中部国際空港株)

駐機場
ドリームリフター・オペレーションズ・センター
港湾地区
大型車専用道路

ドリームリフター・オペレーションズ・センター

海上輸送されたボーイング787部品を一時保管。

特殊ローダーを使って専用輸送機(ドリームリフター)に搭載。

ボーイング787の最終組立のため、ボーイング社(米)へ空輸。

フライ・セントレア・カーゴ事業(中部国際空港利用促進協議会) (地域・荷主・フォワーダーと一体となった利用促進活動)

支援対象

航空会社

新規就航
促進事業

航空会社
支援事業

フォワーダー

フレーター利用促進プラン

大型貨物輸送促進プラン

トラック共同輸送支援事業

荷主

切替促進プラン